



お正月明けからさらに子どもたちの言葉の数も増えてきて、とっても充実したお正月を過ごしたんだなぁと感じていたのもつかの間、もう2月になりましたね！コロナやインフルエンザ、風邪など防ぐものはたくさんありますが、元気に過ごして乗り越えていきたいですね！



初めてのお散歩にも出かけて、4月のりす組当初から比べてますますできることが増えてきているのを感じていると思います。3月中旬からうさぎ組への移行期間に入り、さらに子どもたちの成長を促せるよう、日々の生活の中で進級に向けた言葉かけや働きかけをしていきたいと思います。

### ～遊び～

りす組は大人が見守る中で安心して、大人に褒められたり、出来たことを喜んだりしながら一人で集中してじっくり遊ぶことが大切な時期でもあります。一人遊びから徐々に周りにお友だちに気づき、何となく同じ空間にいても嫌ではない存在から興味がでてきて、積み木をお友だちと同じように並べてみたり、真似をしてみたりと遊んでいる中で「一緒に遊ぼう」「かして」などのやりとりがだんだんできるようになってきました。以前はおもちゃがほしいと持って行くこともありましたが徐々に「いいよ」「いまつかってる」と言葉で伝えられたり、見て待っている姿も見られるようになってきました。まだまだ、お友だちと遊ぶことは練習中なので大人が見守りながらやりとりを楽しんでいます。

### ～言葉の獲得～

形や色、個数、大きい・小さいなど、そのものを指さしながら「緑色の電車だね」「赤くて四角い積み木が1…2…3個あるね」「赤い積み木のほうが高いね」と比べたりしながら、子どもたちそれぞれの理解の段階に応じて伝えていきます。すると子どもたちも一緒に数えてみたり、なんとなぁく真似をしてみたりして楽しんでいる様子も見られます！例えばこんなおもちゃを使いながら…



大きさの違うパズル  
「赤い鳥さんはほかの鳥さんより小さいね」



プッチンボタン

牛乳パック積み木



四角い積み木

また、「風がふわっと〇〇ちゃんの頬っぺたを通過していったね」「葉っぱがガサガサ言っているね。鳥さんがいるのかな。」など…『聴覚』や『感覚』『感触』のような目には見えない体で感じるようなこともあえて詳しく言葉にすることで子どもたちも「あれがガサガサなんだ」「これがふわっとしているんだ」と経験とともに言葉の理解や語彙が増えていくことに繋がります。物や事象と『言葉』が一致すると、子どもたちの世界も広がりとってもステキですよ♪

大人と一緒にやっていたことも自分で考えて行動に移したり、少しずつ自分の思いや考えを言葉にして伝えられるようになってきました。子どもたちのやる気を尊重し、思いを受け止め安心して取り組めるようにしていきます。

